

令和5年度 第3学期始業式 式辞

令和6. 1. 10

先ほどの令和6年能登半島地震で犠牲になられた方々に対する黙とうへの理解と協力、ありがとうございました。

既に全員が知っているとおりに、新年が明けた元旦の夕方、「令和6年能登半島地震」が発生し、東日本大震災以来の大津波警報も発令されました。

翌日以降になって上空からの映像など、多くの方が撮影した動画などの映像で今回の地震の大きさを改めて知った人も多いと思います。亡くなられた方々への哀悼の気持ちと、被災された方々へのお見舞いの気持ちを胸に、被災地のまずは復旧を皆さんとともに心から願いたいと思います。同時に本校の始業式が、こうして無事迎えることができたことに、感謝の気持ちを持って臨んでほしいと思います。

皆さんの中には、すでに参加された方もいると思いますが、義援金活動などに協力した人も少なくないと思います。小さな行動でも大きな力になります。今後も、自分のできる範囲で協力してもらいたいと思います。

また、2日には、日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機の衝突炎上もありました。新年のお祝いの感じではなくなりましたが、皆さんにとっては、新年を迎え、飛躍を誓う区切りがしやすい時期です。前向きな気持ちをもって、先生方に協力してもらいながら、一緒に頑張っていきましょう。

新年を迎え、初詣など、様々な年始の行事は日本文化の慣習的な行事で、神聖なものですが、この時間的な経過をいいタイミングにして、新たな気持ちで、今年の抱負や目標を立て直す、または、修正してみる機会にしてもらいたいと思います。

例えば、愛媛新聞のヤン落コーナーには、新年が明けて、毎日のように今年の目標について紹介する記事が出ていましたので、小学生が立てた純粹で身近な目標をいくつか紹介したいと思います。

「今年頑張りたいこと。もらった図書カードでワークを買って漢字検定5級合格、料理や家の片付けなど、お手伝いをたくさんする」と投稿した女子。

もう一人は、「水泳の記録を伸ばして、合格ラインを切るために、毎日マラソンを頑張ること、算数は得意ですが、国語の漢字が苦手なので、小学生で習った漢字を全てマスターできるようにがんばる」と投稿した男子。

今朝のヤン落には、「テストで100点を取ることです。いつもミスや見間違いがあるので、しっかり復習して見直しをしたいと思います。鉄棒で逆上がりができるようになることです。練習をしていた時、もう無理だと、あきらめていたら友達があともう少し、一緒に頑張ろうと、話しかけてくれて力になりました。今年は友情の力で

できるようになりたいです。」と、小学4年の女子が投稿していました。

いずれも具体的な目標、対策、時間も含めて、自分なりによく考えてまとめています。高校生である皆さんには、日頃の身近な実践の積み重ねに加えて、もっと高い水準の目標を設定し、短期、中期、長期の具体的な目標に整理して、その実現に向かって確実に前に歩んでほしいと思います。

校長室には、日めくりカレンダーで著名な方の言葉が紹介されており、昨日紹介されていたのは、江戸時代初期の剣豪・宮本武蔵の「千里の道も 一足ずつ 運ぶなり」でした。歩みを進めなければ前には進みません。皆さんの行動力に期待しています。

そして、3年生は、今週末には大切な大学入学共通テストがあります。昨年の第3学期始業式でも、いいコンディションといい準備ができるように話したのですが、改めて話します。一昨年に「運動脳」という本が広く読まれ、話題性もあったので紹介しましたが、科学的根拠に基づく研究成果の内容ですので、もう一度紹介します。ウォーキングやジョギングのような有酸素運動20～30分で、脳内に及ぼす好ましい影響により、記憶力や集中力が高まり試験の結果が向上するという研究成果の話です。休憩はすると思いますので、ぜひ実行してみてください。

最後に、令和6年も松山北高校生が大きな舞台や本番で力を発揮する強さと、躍動感あふれる姿を見せてくれることを期待しています。